

地域で・出会い・ふれあう★ 夏のボランティア体験

↑「小規模多機能ホーム菜の花」(川上)折り紙で作品作り

7月から8月の夏休みの間、夏のボランティア体験事業に中学・高校生275名が参加しました。

参加者は、保育・こども園、子育て支援団体、高齢者・障がい者施設など、49カ所の受入れ先でボランティア活動に取り組みました。

この事業は、参加者がボランティア活動を通じて、地域の中で高齢者や乳幼児など、多くの人と出会い、ふれあうことで、他者を理解するきっかけを作り、地域で皆が「共に生きていく」視点について考える機会の提供を目的としています。

ボランティア活動前の事前研修会で、参加者はボランティアの心構えについて学んだ後、活動先の担当者との面談で活動内容や日程、活動時に気をつけること等について話し合います。

また、活動後の事後研修会では、体験をより有意義なものとする為、自身の活動について振り返り、参加者同士で思いを共有する場としています。

こうしたふれあいの中で、温かい心や感謝の言葉に触れ、互いに支え合う意識が醸成されています。【活動報告を次のページに紹介】

共同募金事業だよ★

275名が49カ所の施設等で活動!

★乳幼児・児童関係	33カ所229名
★高齢者関係	10カ所26名
★医療機関	1カ所5名
★障がい者関係	3カ所3名
★ボランティアグループ	1カ所1名
★図書館	1カ所11名



↑ 事前研修会(勝山)
「小規模多機能型居宅介護事業所つぎだ」担当者と面談する生徒たち

活動報告!夏のボランティア体験

北房つどいの広場

ほくぼう ほたるっこ 北房

子育て中の親と子が集う場で、ふれあいや季節行事の準備などの活動に取り組みました。

北房中学校 藤本 珠羽さん

子ども関係のボランティアがしたいと思い、ほたるっこでの活動を選びました。子ども達と遊んでいます、みんな元気でかわいいです。

遊びの中で、子ども達が危ないことをしていないか、周りをよく見るように気をつけています。

動くよ～



ほくぼう ほたるっこ 原 優子さん

ほたるっこをつくった時「いろんな人が来てくれるような場になったらいい」と思っていました。

夏ボラの活動日以外にも自主的にボランティアに来てくれる方や、中学生が高校生になってもボランティアに来てくれる方もいます。

特に、北房地域には高校が無いため、普段、高校生と関わる機会が少ないなかで、ボランティアに来てくださることは、子ども達にとって、お兄さん、お姉さんに関わる良い機会であり、お母さん達にとっても良い刺激になっているようで、ありがたいです。

ピオキッズ学童クラブ 落合

放課後児童クラブで、夏休み中の小学生と一緒に楽しく過ごし、読み聞かせやおやつ準備、掃除等の活動に取り組みました。

真庭高等学校 落合校地 山本 真莉さん

子ども達とふれあい、遊び、毎日が楽しいです。子ども達は元気一杯なので、私も負けないように頑張っています。「お姉ちゃんと遊べて楽しい、好き」と言ってもらえると、とても嬉しいです。ボランティアでは普段は体験できないことができ、先生方から色々なことを教えていただくこともあり、とても勉強になります。

ピオキッズ学童クラブ 藤井 由紀子さん

子ども達とバレーボールを一緒にするなど、よく遊んでくれるので助かります。ここの様子を良く知ってボランティアに来てくれる子が多く、嫌々ではなく楽しんで来てくれることがありがたいなと思っています。

活動では、自分のできることを見つけて活動をしています。反省に「できなかったのでいけなかった」と書いている子もいますが、次の日につながる活動になっています。自分を振り返るというのは大事なことだと思います。



やったー★

パパ抜きで対戦!!

NPO法人じゃがいもの木 喫茶泉茶 久世

就労継続支援B型事業所の飲食店で、片付けやお皿洗いなどの活動に取り組みました。

久世中学校 石村 梨緒さん

障がいを持つ方と関わるのがないので良い機会と思いました。料理も好きなので泉茶へ行きたいと思いました。緊張したけど、お手伝いをしたり、お話をしたり関わりが持てて良かったです。

喫茶泉茶 松崎 安宏さん

障がい者に怖い印象を持っている人も多いけど、それは、実際に障がいを持つ人を見ていないから、知らないからだと思います。夏ボラに来てもらい、障がいを持つ人と関わりを持つことで、どのようにサポートしたら良いかを知ってもらい、障がいを理解してほしいと思う。学校に帰り、友達など周りの人に広めてほしいです。

食器を準備
しましょう



美甘ボランティア 水仙の会 美甘

ボランティアグループの配食サービスのお弁当作りや配達の活動に取り組みました。

勝山中学校 廣岡 志奈美さん

家であまり手伝いをしないので、初めて包丁を使って怖いなと思いました。皆さんやさしく教えてくれてうれしかったです。配達に遠くまで弁当を届けに行ってみようと思いました。ボランティア活動を始める前はこんな体験ができるとは思いませんでした。とても楽しく活動できて、おいしい弁当が作れて「もう少しやりたいな」と思いました。

水仙の会 戸田 英美さん

お願いしたことをきちんとお手伝いしてくれてありがとう。食べることは一生続くので食材にも関心を持ってほしいと思います。配達時に利用者から「中学生がお弁当を持って来てくれるなんてうれしい」と声をかけていただいたこと忘れないで頑張ってください。



ありがとう

福祉活動に活かします

善意銀行だより

【敬称略・受付順】

※真庭市社協への個人からの寄付は税額控除対象となります。

寄付金 七月三十一日

合計 五十九万三千二百九十円

【本所】

矢野 眸（久世） 香典返し
池田 里志（三阪） 香典返し
入江 正親（余野下） 香典返し
入江 正親（余野下） 忌明け
吉松 都（京都府） 篤志寄付
竹下 明枝（久世） 香典返し
中野 亨（余野上） 香典返し
池田 晃浩（鍋屋） 香典返し
池田 晃浩（鍋屋） 忌明け

【北房支所】

上山 昇一（上津井） 香典返し
堀尾 和子（上水田） 見舞返し
岡崎 登（上水田） 香典返し
歌川三子（チヤリティー） 歌謡ショー
清水 義典（上津井） 篤志寄付
北川 善隆（上水田） 香典返し
山田 弘子（阿口） 見舞返し
畝森 基樹（山田） 香典返し

【落合支所】

難波 勝（兵庫県） 香典返し
亡井手岡千代子
藤岡 聡（下市瀬） 香典返し
中原 浩二（下方） 香典返し
岡田 正美（高屋） 忌明け
住田 正二（中） 忌明け

【勝山支所】

初岡 俊明（福田） 忌明け
小出 里枝（吉） 香典返し
中島 克佳（日野上） 香典返し
三浦 優（下河内） 忌明け
赤田 稔治（下市瀬） 香典返し
菱川登志子（下方） 香典返し
亡菱川芳子
横村 昌市（栗原） 香典返し
森川 達三（関） 香典返し
金平 栄（大庭） 香典返し
岡田 寿夫（上市瀬） 香典返し

川上 壮（上） 香典返し
川上 壮（上） 忌明け
池田 明夫（月田） 香典返し
池田 明夫（月田） 忌明け
谷口 慶二（柴原） 香典返し
長江 政通（月田） 香典返し
樋口 恵作（見尾） 香典返し
黒瀬 以和（乃勝山） 香典返し
黒瀬 以和（乃勝山） 忌明け
池本 達雄（岡） 香典返し
池本 達雄（岡） 忌明け
青木 功（月田） 香典返し
坂口 一郎（月田） 見舞返し
妹尾 泰男（勝山） 忌明け
堀尾 澄子（月田） 見舞返し
野村 房子（月田） 香典返し
近藤 隆子（神代） 香典返し

【美甘支所】

半田 明徳（鉄山） 香典返し
宮本 定光（鉄山） 見舞返し

【湯原支所】

遠藤 健一（一種） 忌明け
福田 務（久見） 香典返し

【山崎支所】

山崎 智子（湯原温泉） 忌明け
明村 吉雄（栗谷） 見舞返し
明村 吉雄（栗谷） 香典返し

【中和支所】

中澤 譲（森山吉田） 香典返し

【八束支所】

高見 頼和（森山下長田） 見舞返し

【川上支所】

石田 幸男（森山本部） 香典返し
杉村 昌彦（森山下徳山） 香典返し

平成30年7月豪雨岡山県
災害義援金寄付者
（敬称略）7月31日

真庭市消防本部



ありがとうございました。

心配ごと相談所ご案内 9月の予定

【時間：9時～12時】※相談は無料です。予約不要。

北房（真庭市役所北房振興局）	26日（木）
落合（落合老人福祉センター）	12日（木）
久世（真庭市役所本庁舎）	25日（水）
勝山（勝山保健福祉センター）	6日（金）
湯原（真庭市役所湯原振興局）	19日（木）
中和（中和ティサービスセンター）	6日（金）

研修報告

平成30年豪雨災害に学ぶ！

「福祉「ミニミニづくり」と寄り添い支援を」

8月6日（火）、落合総合センターで、総社市社協事務局長佐野裕二氏を講師に迎え「西日本豪雨災害での災害ボランティアセンターの取り組みと今後の課題」と題した講演がありました。約150人の参加がありました。

講演では、昨年7月の西日本豪雨災害発生直後から行政と連携し設置されたボランティアセンターの活動報告があり、15,606人のボランティアが全国から駆け付け力を貸してくれたことや総社市内の高校生の約7割が「自分達にも出来ることがある」との思いで活動した様子について話されました。

また、自主防災組織の活動が活発な下原地区の避難訓練や安否確認票の作成等の取り組みが紹介されました。福祉コミュニティづくりは、小地域での住民活動の継続や学校、地域と連携した若い世代への福祉教育の推進など、日頃から社協が推進する「地域福祉

活動」がその基盤となること、今後も行政と社協が連携し、住民に寄り添った支援を継続していきたいと締めくくられました。

【参加した方の声】

◆竹田二美さん（落合向津矢）
地域で防災組織を立ち上げる動きもあり参加しました。体験に基づくお話しは、今後の活動を考えるにあたり参考になることが多く良かったです。

◆福田正光さん（落合西河内）
学生ボランティアの活躍の様子を伺い、素晴らしいと感じました。世代を超えて一緒に活動を行い、お互い感化される関係を作ることができれば、と思いました。



熱心に耳を傾ける参加者



互いを気遣い、
支え合う福祉意
識が世代を越え
て根付いていくよ
う社協も活動を
応援しています。

↑住宅地図で地域を再確認
日の爪:人口48人(22世帯)
高齢化率50%

←「熱中症に気をつけてね」と訪問

この活動は、3年前、当時の福祉委員から、こども達に高齢者の見守り活動への協力を求める呼びかけがあり、手紙を持って訪問したことから始まりました。活動内容は「毎日の散歩を見守り、声をかけに行き握手をする」。

「訪問すると嬉しそう」「また来いよ、ありがとと言ってくれる」「手紙の返事をもらった」と高齢者の優しい声かけや気遣い、感謝の言葉が隊員にとっても嬉しいとやる気に繋がっています。

7月31日(水)、隊員4名と福祉委員木村仁子さん、社協職員が日の爪公会堂に集まりました。この会では、まず、小学校で車イスと高齢者疑似体験をした隊員から「優しく接すること、見守って出来ないことを手助けしようと思った」と自身の体験を通して感じたことを皆に伝えました。

また、社協から八束地域の福祉活動等について説明した後、「日の爪のことをもっと知ろう」と住宅地図で高齢者のみの世帯の様子やこどもの居る世帯、ぐいび・桑の実がなるお気に入りの場所、地域の行事等を皆で確認しました。

そして夏休み中に訪問する10件と訪問担当隊員を決め「暑いので塩分チャージをして欲しい」と、8月6日に塩タブレットと手紙を持って訪問することとしました。

この活動は、3年前、当時の福祉委員から、こども達に高齢者の見守り活動への協力を求める呼びかけがあり、手紙を持って訪問したことから始まりました。活動内容は「毎日の散歩を見守り、声をかけに行き握手をする」。

八束地区社協(日の爪地区)

見守り隊

こども

夏の

応援しています!!



をする」「高齢者の家で飼っている鰻を見に行かせてもらおう」など、高齢者とのふれあいから見守りをしています。

「訪問すると嬉しそう」「また来いよ、ありがとと言ってくれる」「手紙の返事をもらった」と高齢者の優しい声かけや気遣い、感謝の言葉が隊員にとっても嬉しいとやる気に繋がっています。

7月31日(水)、隊員4名と福祉委員木村仁子さん、社協職員が日の爪公会堂に集まりました。この会では、まず、小学校で車イスと高齢者疑似体験をした隊員から「優しく接すること、見守って出来ないことを手助けしようと思った」と自身の体験を通して感じたことを皆に伝えました。



うき! サマー教室

開催
報告

8月9日(金)勝山文化センターで第1回目の「うきうき!サマー教室」を開催しました。

この教室は、勝山小学校の1年生から6年生の児童を対象に夏休みの宿題や調理体験、福祉講座など楽しく集い学べる場として開催し、ボランティアの協力のもと社協が「子どもの居場所づくり」に取り組むものです。

参加した21名の子ども達は、社協のきょうちゃんラジオ体操をした後、学習支援ボランティア8名と一緒に夏休みの宿題に取り組みました。子ども達はお互いに質問しあったり、ボランティアに「ここ、教えてください」と尋ねたりしながら勉強しました。

勉強の後は、6名の栄養委員の協力で、皆でお好み焼き作りに挑戦しました。出来たてのお好み焼きに「美味しいね」と話しも弾み、会食を楽しみました。

社協は安心して子育てができる地域づくりに地域の方と共に取り組んでいきます。

参加者の声

- ・宿題をみんなでするとはかどった。
- ・勉強を頑張ったし、お好み焼きがおいしかった。ひっくり返すのが難しかった。
- ・先生が教えてくれてよかった。「字が上手じゃなー!」とほめてくれてうれしかった。

学習支援の皆さんから

- ・勉強しようと意欲のある子どもさんで見守る私たちも気持ちよく関わりました。



広報担当の
つばやき

「ボランティア」は、自主的に無償の奉仕活動をする人(人)を言うそうです。ボランティアを初めてした時は学生で、なんとなく気恥ずかしい気がしました。あなたのボランティアの思い出はありますか？



真庭市社協HP